



にししやう

西小だより

ホームページはこちら→



「強く 正しく 健やかに」 令和5年 5月18日(木) 第3号 校長 都外川 潔
今年度は学校創立150周年。そして、コミュニティスクール1年目です。

小さいのち

春になって、生き物たちも活動をはじめました。

私は、毎朝校門前の横断歩道で子どもたちの見守りをしていますが、最近、生き物が入った箱を大事に抱えて歩いてくる子や、手のひらの中にダンゴムシをたくさん握ってくる子が増えてきました。

(ダンゴムシたちも大変だなあ。人間に生まれてよかった…)と、私はそれを見て思うのですが、ある日、同じようにダンゴムシをつかまえてきた子たちが、こんなことを私に言いました。「でも、このたまごをもってるダンゴムシは逃がします。」…私は、それを聞いて、(子どもたちも、小さいのちは大切にしなければ…と)思っているんだなあ。)と、うれしく思いました。

自然に生きる生き物たちは、自分の身を守ることに必死です。かわいい小鳥たちは、えさを食べているときにも、常に周りを見て、敵が来ないか気にしています。私たち人間は、外敵におびえずに暮らせるだけで幸せです。だからこそ、人の心と体を傷つけないことが大切です。本校では、「自分にされていやなことは、人にしない、言わない。」を合い言葉に、安心できる学校づくりに努めています。ご家庭でも、この言葉を話題にさせていただければありがたいです。

西小のKDTD問題

4月に、5・6年生を対象とした長崎県学力調査と全国学力・学習状況調査が行われました。これは、県や全国の学力等を把握し、課題を分析することで指導の充実に役立てるためのものです。

全国の結果は後ほど返却されてきますが、本校で採点を行った際に、「かなりできていないけど、ちょっと考えるとできそうな問題」があることに気づきました。本校では、略して「KDTD問題」と名付けています。例えば、6年生・国語では、次のような問題がありました。

部を漢字でいねいに書きましょう。

雑草取りを続けたのですが、いがいに雑草が生えてきて、とてもこまりました。

この問題の本校での採点結果は次のとおりでした。
意外(正解)…41. 8% 以外…37. 3% その他の誤り…10. 9% 無回答…10%

この結果から、同音異義語の理解が十分でないことがわかります。そこで、次のような指導例を考えました。

教師 「『意』という漢字を使った熟語を知っていますか？」

児童 「意味」、「意見」…があります。

教師 「そうですね。他にも、同意、意地、意思などがありますね。意という漢字には、考えや気持ちという意味があります。この問題のいがいは、『思いのほか』、『思ったと違う』という意味があるので、『意外』という漢字を使います。このように同じ読み方でも、どういう意味か考えて使うことが大切です。」

このように、採点結果を指導にいかし、児童が「あっそうかあ！」と気づけるようにしていきます。